

### 3. 習字の効果

筧 泰彦 私は大学で日本思想史や日本倫理思想史を教へて居りますが、私の所へエール大学の日本学科を出た留学生がきた時のことです。あちらでは日本語の単位を多く取ってきたといふのですが、会話ができません。漢字がなかなか覚えられないといふので、毎日漢字を筆で書かせた。さうしますと一年で当用漢字などは全部覚えて書けるやうになりました。これは筆で書くと筋肉が覚えるらしい。水泳だって一旦泳げるやうになれば十年経っても泳げるのと同じらしい。ですから習字といふものも、昔寺子屋などでは手習ひといって毛筆で書かせたのですが、これは尊い体験から出た方法だと思ふ。この手習ひといふことも漢字教育に非常に大切なことではないでせうか。

石井 これもおっしゃる通りだと思ひます。私も幼稚園で毛筆の習字をした方がよいと考へ、機会あるごとに薦めて居ります。幼児は実に無心に書きますから、私たちがかなはないくらゐ良い字を書きます。色紙に幼児が書いたものを見ますと、実に堂々

としてゐる。どんな高僧が書いたのかと思はれます。これもぜひ復活させたいことです。書が芸術になるといふのは外国にはないことで、日本の誇りだと思ひます。岡潔先生は「漢字は心の玉を磨く道具」とおっしゃってゐます。漢字は一字一字我々の魂を表すものから成り立ってゐますので、字を書くといふことは魂を表現することですから、いくら時間をかけて練習しても決して惜しくないと思ひます。